

プリンセス・クルーズ、新プロダクション・ショー
「ザ・シークレット・シルク」日本上演記念イベントを開催
スペシャルゲストに女優の浅野ゆう子さんが登場、「母への「恩返し」クルーズ」の夢を語る



登壇者左から：「ザ・シークレット・シルク」プロデューサー スティーヴン・シュワルツ氏、
「ザ・シークレット・シルク」制作・監督 ジョン・タータグリア氏、美術作家 小野川直樹さん、女優 浅野ゆう子さん、
プリンセス・クルーズアジア太平洋地区コマーシャル・オペレーション担当 シニア・ヴァイス・プレジデント スチュアート・アリソン、
プリンセス・クルーズジャパンオフィス 株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長 堀川 悟

プリンセス・クルーズは、2018年10月31日（水）横浜港に停泊中のダイヤモンド・プリンセス内プリンセス・シアターにおいて、新プロダクション・ショー「ザ・シークレット・シルク」日本上演記念イベントを開催しました。

当日は、「ザ・シークレット・シルク」が上演された他、日本上演を祝い、本作品のプロデューサーを務めるスティーヴン・シュワルツ氏、制作・監督のジョン・タータグリア氏、プリンセス・クルーズ エンターテイメント オペレーション&プロダクション・マネジメント担当ディレクター ケリー・ラブグローブ、スペシャルゲストの女優の浅野ゆう子さんが登壇し、トークセッションを開催。また、来賓の国土交通省 港湾局 産業港湾課 クルーズ振興室 官民連携推進室 室長 塩田昌弘氏、および横浜市港湾局長 伊東慎介氏より、祝辞の言葉をいただきました。

浅野ゆう子さんは、「鶴をイメージした」白のドレスで華やかに登場。ショーの感想を「パペットを使ったショーを初めて見ましたが、キャストがパペットと同じ気持ちになって演じており、ファンタジックで素敵なラブストーリーに加え家族愛が描かれた見応えのあるショーでした。日本の昔話の鶴の恩返しとはストーリーが異なりますが、華やかで国際的なショーとして演出されており世界中の方々が見ても楽しめる素晴らしいショーだと思います」と述べました。また、『鶴の恩返し』にちなみ、「今恩返ししたい人は誰ですか？」という質問に、「母への恩返しとして、生まれ育った神戸から一緒にクルーズへ出かけたいですね」と話しました。

スティーヴン・シュワルツ氏、ジョン・タータグリア氏らはトークセッションで、今回のショーの発表について、「『ザ・シークレット・シルク』は、日本の昔話をモチーフにしているのも、ストーリーの原点である日本から発着するクルーズで上演し、日本の皆様に見ていただけることを大変光栄に思います」と話しました。

さらに当日は、本作品の上演に伴い、折り鶴を使った作品で知られる美術作家 小野川直樹さんによる、1200羽の小さな折り鶴を使って制作されたアート作品「Ao（あお）」を披露。小野川さんご本人も登壇され、作品について、「プリンセス・クルーズのブランドロゴと、波の流れるイメージからこの作品を制作した」と話しました。

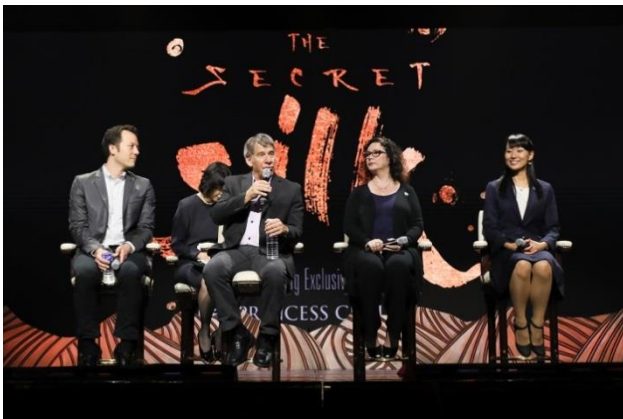
【記念イベントの様子】



新プロダクション・ショー「ザ・シークレット・シルク」より



浅野さんのコメント



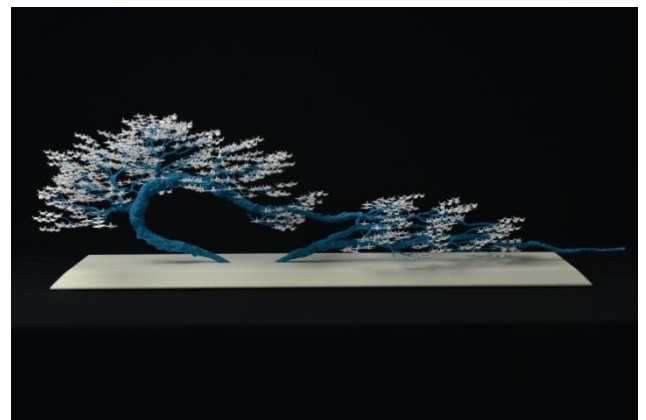
Q&Aセッション



浅野さんと制作陣によるトークセッション



小野川さんと浅野さんのトーク



Ao (あお) 作品

プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテインメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 においてベスト・オーシャンクルーズライン賞第 1 位、ベスト・クルーズシップ ダイニング部門にてロイヤル・プリンセスが第 1 位、ベスト・クルーズシップ エンターテインメント部門にてリーガル・プリンセスが第 1 位、ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門にクラウン・プリンセスが第 2 位、リーガル・プリンセスが第 3 位、ロイヤル・プリンセスが第 6 位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 にて、ベスト・中米コース、ベスト・南太平洋コース、ベスト・オンボード・ショッピング、ベスト・シグネチャー・カクテルを受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2016」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を 3 年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を 2015 年 12 月に受賞。(9 年連続の受賞)。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を 2014 年に引き続き 2015 年 12 月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015 年 10 月に受賞

【国内での受賞】

- 第9回「観光庁長官表彰」を2017年10月受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域 ビジネス部門で部門賞を2017年9月受賞、また第1回同アワードにて、観光関連産業部門 部門賞を2015年9月受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月受賞
- 日本で歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度、2017年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を4年連続で受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を2015年6月受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」にて、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが2014年12月に「グランプリ」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」にて、「運輸部門優秀賞」を2013年9月受賞